

診療器具に纏わる思い出

歯科外来 副看護師長 和田 晶子

現在、新棟移転を目前にして診療器具の管理に取り組んでおりますので、入職した頃を少し回想してみます。

平成7年私が入職した頃の歯学部は医学部と合併前でした。現在の歯科外来看護師数の4倍はあった大きな歯学部単科看護部組織でした。歯科の経験の無かった私は、まず病棟に配属が決まり、現在の口腔生命福祉学科の教室がある3階の歯科病棟で勤務しておりました。平成8年入職して間もなく、三交替勤務から二交替勤務の検討が始まり、試行期間を経て平成10年3月から本実施となり、これを経験し平成10年10月歯科外来、総合診療室へ配置換えになりました。その頃、感染防止の面から診療用トレイやコップがディスポ化され診療器具の洗浄方法、滅菌方法の改善や共通化、診療器具のセット化、診療器械の定数供給等が積極的に進められました。現在使用しているディスポのトレイは退職された師長がデザインを考案した物です。先端がクの字に曲がった歯科用セッスが動いて袋を突き破らないように固定できるような工夫や、数種類の薬液が入るようなデザインにして、歯科の特殊性が最大限生かされたトレイを完成させました。これは新大型トレイと名前が付いているそうです。この時、交差感染防止と労働力削減、作業効率化の面からワッテ缶が廃止となり、ロールワッテ、ガーゼ、綿球等の衛生材料見直しが検討されました。トレイのくぼみにそのまま入れたのでは、取り出す時に静電気で飛んでしまい、上手くいきませんでした。衛生材料を単包装にする袋のコストや開封操作を考えると、何とか基本トレイの中に入れる方法はないかと検討していました。この時、総合診療室で勤務していた私は、現在義歯・冠 Br・歯診・歯周・加齢・総診

の基本トレイに入っている衛生材料（ワッテ1枚・ロールワッテ3本・綿球2個をガーゼ2枚で包む）を考案し、新大型トレイに対し和田型衛生材料と勝手に名前をつけました。この和田型衛生材料を、総診の学生や明倫実習生にサプライ実習の際に作ってもらいましたが生産が間に合わず、逆にその必要性と運用の目処が立ったため外注委託となりました。このように今、入職した頃の事を振り返ってみますと、本当に色々な事が目まぐるしく変わったと思います。

総合診療室に配属となって二年目、笠井師長（現在、副看護部長、旧・矯正／総診師長）と総合診療室の歯科器具、歯科材料の中央化（バイキング方式、中央洗浄、ハンドピースの滅菌）を一緒に行い現在の各診療科の中央化の原型を作った事も忘れられない思い出の一つです。感染管理面から歯科器具を薬液消毒から高温洗浄へ移行し、器具の有効利用を図りました。歯科材料においても在庫の期限切れを見直しコスト削減に繋がりました。あの時は予算等何も無く、今有る机や棚を利用して中央化したので、中央化するまでの間、笠井師長と構想を練っては、いつもメジャーをポケットに持ち歩き、右の物を左に、上にしたり下にしたり、引っ繰り返したりの毎日でした。暫くの間、試行錯誤の毎日で動線や作業効率を検討しては物の配置を変更したので、「この頃総診に来るたびに物の置き場、変わっていませんか？」首を傾げる学生に「あなた達は若くて優秀だから適応が早く助かります」と言うと「そうですね、どうせ昨日の場所が何処だったかなんて覚えていないですよ、いいですよ、使いやすいようにしてくれば」と言ってくれた学生達、協力的で本当に優秀な素晴らしい学生ばかりでした。その頃の学生が今、

各診療科で立派な歯科医師として今でも私に温かい協力を惜しみなく与えてくれます。総合診療室での歯学生との出会いは歯学部で働く私にとってかけがえのない財産となりました。楽しかった総合診療室も2年半で勤務交替となり再び病棟へ配属になりました。平成17年歯科病棟と手術室が新棟移転する時、再度歯科外来に勤務交替となり、現在義歯・冠 Br・小児歯科に勤務しています。平成14年、歯学部附属病院と医学部附属病院が統合され、平成16年の病院計画においてICUの増床計画に伴う看護師の配置の検討がなされました。平成17年歯科外来システム再編成が始まり、看護職でなくともよい業務内容を他職種へ転換する計画が出され、看護師の削減が行われました。そして平成17年各診療科の歯科器具の中央化（中央洗浄と器具中央化）、ユニットのスリット・バキュームタンクの清掃と医療ゴミの回収を外注職員へ委託、看護業務を整備・標準化し、スタッフ

のローテーション勤務を実施し、総数18名から現在11名になりました。そして今年度平成24年11月歯科外来は新棟へ移転します。平成23年1月から電子カルテが導入され、新棟ではワンフロアにおける各ドクターによるチェア予約方式という新体制が待っています。看護部として限られた条件の中で最大限有効な業務が実施できるよう微力ながら努力してまいりたいと思っております。移転まであと10ヶ月、全ての方の協力の下、一丸となって無事移転したいと思います。本当に16年前、歯学部附属病院就職時には想像もしなかった、医学部附属病院との統合、新棟移転でしたが、この様な大きな節目に各歯科診療科の諸先生方、衛生士、技工士、事務部門、物流センター外注部門、看護部の皆様と一緒に仕事ができる事を感謝しております。定年まであと少し、さらに頑張りたいと思います。これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

